

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

【カルチャーホール】

アンサンブル屋 第二演奏会

▼日時 3月20日(火) 14時45分～17時

▼内容

札幌近郊の音楽を専攻する学生によるコンサートです。クラシックを中心に様々なジャンルの曲を演奏予定です。今回は映画音楽を多数演奏します。ぜひご家族、ご友人をお誘いの上、足をお運びください。

▼問合せ 吉田 (☎ 090 - 5804 - 3716)

ふれあい倉庫を使ってみませんか？

カルチャーホールや多目的ホールを利用される場合は、ふれあい倉庫に直接お申し込みください。コンサートや作品展示など、様々な利活用ができます。

当別町のホームページで施設の空き状況をご覧になります。また、使用申請書のダウンロードができます。



コンサートに！



イベントに！

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔3月のギャラリー〕

ペンと筆で描く「優しい時間」

▼展示者 三浦泰子

▼内容 絵画展示会

▼期間 3月12日(月)～31日(土)

〔3月のイベント〕

当別中学校女子受験生@ Tobetsu FIKA

▼日時 3月27日(火) 13時と15時の2回

▼内容 中学生女子4人によるサクソ、アコーディオン、キーボードのウキウキライブです。

▼演奏者 ハッピーガール

<町民ポータルサイト>

ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新していますので、ぜひご覧ください。<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388) 商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成24年2月11日(土)

今日は当別町「あそ雪の広場」がオープンした。この雪祭りは町民の自主的な活動で協賛団体が62もあり、当別町建設協会が中心になって市街地の排雪を利用して実行してくれているが、今年は建設協会も厳しいから、どうなるか心配していたが有難い事に例年のように立派なステージと大きな「ふくろうの滑り台」を造ってくれて自衛隊さんもキャラクターの雪像を造ってくれた。

各学校の雪像コンテストもあって花火大会の時刻には「あそ雪の広場」に例年通り大勢の人が集まって30回目の幕が盛大に開かれた。

更に今年は東日本大震災で札幌市へ避難されている福島県の人々が100人ほど子供連れで当別町の招きに応じて来て下さった。

「ふれあい倉庫」での歓迎会でお会いした人々は殆ど母親と小学校低学年以下の子供さん達だった。

その時、私は太平洋戦争の敗戦が色濃くなってきた昭和19年頃、空襲を逃れて都会から田舎に疎開してきた人々が沢山おられて家にも親戚の母子が疎開して来た当時の事を思い出した。

私は祖父が京都の人だったから「おおきに」とか「あかへん」と言うような言葉は聴き慣れていたが、疎開して来た子の中には方言を使ってからかわれて泣いていた子もいた。

今、思うと父は戦地で母と子で慣れない田舎で暮らす事は淋しく、ちょっとした事でも小さい心は傷付き悲しかったのだろう。

それで私は「当別は、奥羽の覇者、伊達政宗公ゆかりの人達が拓いた町です。かつてこの大地が私達の先祖を受け入れてくれたように、今日この大地は同じ奥羽地方の皆さんを心から歓迎しているのであります」と挨拶した。

戦争が終って、日本が平和になり農家が少し豊かになった頃、私の母は農協婦人部の旅行で「常盤ハワイ」へ行った事があった。

あの時の母はととてもとても幸せそうだった。

一昨年95歳で亡くなった母は今きつと福島県の人々に御恩返しをして欲しいと願っているだろう。

当別町長泉亭俊彦